



## 子どもと大人が共に学びをつくる「オンライン授業」への挑戦

准校長 岸 俊介

夏季休業中に「まん延防止等重点措置」が「緊急事態宣言」となりました。その緊急事態宣言も同じく夏季休業中に9月12日まで延長されました。横浜市教育委員会の通知に従って、8月27日～31日の期間が一斉臨時休業となり、9月1日から分散登校による教育活動が再開されました。現在、分散登校は10月1日まで延長が決定しています。保護者の皆様には、メール等での急なご連絡であったにもかかわらずご理解とご協力をいただきました。大きな混乱もなく教育活動を再開・継続できていることに改めて感謝申し上げます。

分散登校では、緊急事態宣言下において、できるだけ「密」な状況を避け、感染リスクを低減させながら「学びを止めない」ようにします。学級をA・B、2つのグループに分けました。Aが登校する日、Bは家庭での学習に取り組みます。翌日はAが家庭、Bが登校。そのリズムを繰り返していきます。2つに分かれたクラス。学びをどう保証していくか。心をどうケアしていくか。GIGA 端末（小学部はiPad、中学部はchromebook）を使ってどう学習を組み立てていくか。職員は短い時間で知恵を出し合いました。



【対面学習とオンライン学習を組み合わせる】

分散登校による教育活動再開にあたって、感染防止対策を継続して徹底していくことはもちろん、加えて本校が大切にすることがあります。それは「つながりを大切にする」こと「すすんで挑み自分をみがく」ことです。これらの考えをもとに、GIGA 端末を活用したオンライン学習に大きく踏み出しました。職員にとって初めての取組である「オンライン授業（同時配信型授業を含む）」。職員は「すすんで挑み 自分をみがく」を体現しました。挑戦には失敗がつきものです。毎日試行錯誤しながら、「つながりを大切にする」＝「子どもたちの安心につながる」オンライン授業になるよう、職員は努力を続けています。

家庭での学習において「一人で学ぶこと」は、学習経験をある程度積み重ねていないと難しいといえます。学年や場面によっては、オンライン（Google Meet）で、目に見えるかたちで学校と家庭が同時につながっていると感じさせることが大切だと分かりました。これは、実践しながら気づいたことです。他にも毎日気づいたことを職員で情報共有し、対面授業とオンライン授業の最適解を日々探しています。

「オンライン学習」への挑戦は子どもたちの協力なしには成立しません。よく説明を聞き、手順を覚え、うまくいかない場面でもじっと待ち…。緊急事態宣言下における未経験のオンライン授業。手探りながらも一步一步前進したのは職員と子どもたちが互いに協力し合って作り上げたからに他なりません。「教える者」と「教えられる者」という旧来の関係性を超えた、大人と子どもが共に学びをつくっていくとする、これからの学びの目指す姿が垣間見られたように思います。

日々職員が挑戦に専念できるのも、支えてくださるご家庭のご尽力のおかげです。そして学校のチャレンジをいつも温かく見守っていただける地域の皆様のおかげです。ありがとうございます。「疾風に勁草を知る」この度の難局でもまた、チーム霧が丘のすばらしさを再確認しました。

\*\*\*\*\*

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】  
 各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。  
 <霧が丘学園ホームページ>  
 URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード